

## 明治・大正のジャーナリズム年表

1862年 1月	徳川幕府、翻訳海外情報紙「官板バタバヤ新聞」発行。
1868年 1月	戊辰戦争おこる。
2月	新政府、「太政官日誌」発行。
1869年 2月	政府、「新聞紙印行条例」で発行許可・事後検閲制実施。
1870年12月	8日、神奈川県令が日本初の日刊紙「横浜毎日新聞」を発行。
1874年 3月	森有礼ら、『明六雑誌』創刊。
7月	現存最古の地方紙「山梨日日新聞」の前身、「峡中新聞」創刊。以後、地方紙創刊つづく。
1874年11月	『読売新聞』創刊。
1875年 6月	新聞紙条例と讒謗律公布。
11月	『明六雑誌』自主廃刊。
1877年 1月	西南戦争おこる(～9月)。
1879年 1月	大阪で「朝日新聞」創刊。
1881年10月	1890年に国会開設との詔書発せられる。板垣退助を総理とする自由党結成。
1882年 3月	大隈重信を総理に立憲改進黨結成。
10月	福沢諭吉、「時事新報」創刊。
1883年 4月	新聞紙条例改悪。内務卿が新聞発行禁止・停止権を掌握。
7月	政府、「官報」第1号発行。
1887年 4月	条約改正問題おこり、鹿鳴館の舞踏会に非難高まる。
1888年 7月	「東京朝日新聞」創刊。
11月	「大阪毎日新聞」創刊。
1889年 1月	「朝日新聞」、「大阪朝日新聞」に改題。
2月	大日本帝国憲法公布。
同月	陸羯南、「日本」創刊。
1890年 2月	徳富蘇峰、「国民新聞」創刊。
11月	帝国議会開会。
1892年11月	黒岩涙香、「万朝報」創刊。
1894年 8月	日清戦争おこる。
12月	博文館、『太陽』創刊。
1895年 4月	日清講和条約調印。つづいて三国干渉おこる。
1897年 3月	新聞紙条例改正、内務大臣の発行禁止処分を廃止、司法処分とする。
12月	雑誌『労働世界』(編集部長・片山潜)創刊。
1899年 1月	『反省会雑誌』、『中央公論』に改題。
1901年 7月	光永星郎、電通の前身、日本広告株式会社と電報通信社を創立。
1903年11月	幸徳秋水・堺利彦、「平民新聞」創刊(1905年1月廃刊)。
1904年 2月	日露戦争おこる。
1905年 9月	日露講和条約。条約反対の大衆、「国民新聞」を襲撃。
1908年 6月	荒畑寒村ら社会主義者、赤旗事件で逮捕。

1909年 5月	新聞紙法公布、内務大臣の発行禁止処分復活。
7月	韓国併合強行。
1910年 5月	大逆事件。翌年1月、幸徳ら12人に死刑執行。
1911年 3月	「大阪毎日新聞」、「東京日日新聞」を合併。
1912年 7月	明治天皇病没。
12月	護憲運動おこる。
1913年 2月	護憲運動、桂太郎内閣を倒す。
1914年 2月	新聞聯合社の前身、国際通信社創立。
8月	日本、ドイツに宣戦布告、第1次大戦に参戦。
1915年10月	大阪の「朝日」「毎日」、大正天皇即位記念で夕刊発行開始。
1918年 8月	シベリア出兵。富山で米騒動。8月26日付「大阪朝日新聞」の記事「白虹を貫けり」が新聞紙法違反とされる。
9月	寺内正毅内閣総辞職、原敬内閣成立。
11月	第1次大戦終わる。
1919年 3月	朝鮮で三・一運動。
5月	中国で五・四運動。
1920年 1月	国際連盟発足。
1922年 2月	海軍軍備制限条約・ワシントン条約調印。
同月	『旬刊朝日』(のちの『週刊朝日』)創刊。
4月	『サンデー毎日』創刊。
1923年 1月	『文藝春秋』創刊。
9月	関東大震災。
12月	虎ノ門事件。
1924年 1月	大阪の「朝日」「毎日」元日号が100万部突破。摂政宮(昭和天皇)成婚。
同月	第2次護憲運動発足。
6月	清浦奎吾内閣総辞職。
2月	正力松太郎、「読売新聞」買収。
1925年 1月	『キング』創刊。
2月	治安維持法制定。
3月	普通選挙法制定。
12月	「東京朝日」「東京日日」、系列販売店を定価売即行会に組織。他紙にも定価販売を強要、圧倒する。
1926年 5月	岩永裕吉、国際通信社を日本新聞聯合社に改組。
12月	大正天皇病没。
1928年 2月	第1回普選実施。
3月	共産党員一斉検挙(三・一五事件)。
4月	第2次山東出兵。
6月	関東軍、張作霖爆殺事件おこす。
11月	昭和天皇、即位礼挙行。